

平成25年度
社会福祉法人札幌肢体不自由福社会
事業報告書

平成25年度 事業実績報告

社会福祉法人 札幌肢体不自由福祉会

社会福祉法人札幌肢体不自由福祉会は平成23年に設立し、第2種社会福祉事業として生活介護事業所「O・H・G（おはぎ）」、居宅介護（重度訪問介護）事業所「ヘルパーステーションDAIーふく」、及び公益事業として地域共同作業所「ふれあいセンター823」、「ふれあいセンター翔」を運営していましたが、本年4月より「ふれあいセンター823」が生活介護事業に移行し「O・H・G（おはぎ）」と一体となって事業を運営しております。

法人の基本方針及び運営理念に基づいて実施した平成25年度事業の結果について報告します。

1 法人の基本方針

誰もが人として認められ、幸せに生きることができる社会の実現をめざすとともに、地域との結びつきを重視し、利用者及びその家族が地域住民との交流の機会が確保されるよう努めます。

また、事業運営にあたっては、常に福祉サービスを受ける側の立場に立って、個の尊重及び自立支援を基礎に、利用者本位の良質かつ適切な福祉サービスを提供します。

2 運営理念

- (1) 重度障がい児者の尊厳を守るとともに、「利用者本位の運営」を行います。
- (2) 地域の方々との交流を深め、「社会参加の促進」を図ります。
- (3) 重度障がい児者に対する「日常生活の支援」を行います。
- (4) 一般就労が困難な重度障がい児者に対し、「創作的活動の機会」を提供します。
- (5) 当事者団体だからこそできる「思いを形」にします。

【実施事業】

事業名	施設区分	施設種別・施設名	定員
第2種 社会福祉 事業	障害福祉サービス	生活介護事業 O・H・G（おはぎ）	20名
	障害福祉サービス	居宅介護事業 ヘルパーステーション「DAIーふく」	
	障害福祉サービス	重度訪問介護事業 ヘルパーステーション「DAIーふく」	
公益事業	地域共同作業所	小規模作業所 ふれあいセンター 翔	10名

※平成25年3月31日～公益事業の地域共同作業所「ふれあいセンター823」の廃止

⇒平成25年4月1日付けで札幌市に廃止届を提出

※平成25年4月1日～生活介護事業「O・H・G（おはぎ）」の専用面積の増加

⇒平成25年8月1日付けで札幌市に、旧「ふれあいセンター823」の作業所（50.719㎡）及びホールの一部を生活介護事業の専用部分として増加の変更届を提出

3 役員¹の状況（定数：理事6名、監事2名）改選：平成25年3月24日（任期：平成27年3月24日まで）

役職名	氏名	就任年月日	異動	備考
理事長	山内まゆみ	平成23年3月25日		NPO法人理事
理事	瀧三紀子	平成23年3月25日		利用者家族
理事	松坂優	平成23年3月25日		社会福祉法人理事長
理事	朝田志津子	平成23年3月25日	退任	平成25年10月20日付辞任、 民生児童委員
理事	渡辺あや子	平成25年10月30日	新任	NPO法人会長
理事	落合正子	平成23年11月28日		合同会社代表、NPO法人理事長
理事	菊地ひとみ	平成23年8月24日		施設長
監事	小野雅美	平成23年3月25日		社会福祉法人職員
監事	細川道子	平成23年3月25日		税理士

（役員は平成26年3月31日現在）

4 評議員²の状況（定数13名）改選：平成25年3月24日（任期：平成27年3月24日まで）

役職名	氏名	就任年月日	異動	備考
評議員	山内まゆみ	平成23年3月25日		NPO法人理事
評議員	瀧三紀子	平成23年3月25日		利用者家族
評議員	松坂優	平成23年3月25日		社会福祉法人理事長
評議員	朝田志津子	平成23年3月25日	退任	平成25年10月20日付辞任、 民生児童委員
評議員	八島昭雄	平成26年1月30日	新任	住職、青少年育成員、町内会顧問
評議員	落合正子	平成23年11月28日		合同会社代表、NPO法人理事長
評議員	菊地ひとみ	平成23年8月24日		施設長
評議員	佐京正義	平成23年3月25日		NPO法人理事
評議員	宝福豊	平成25年3月25日		会社員
評議員	吉田貫一	平成23年3月25日		会社代表取締役
評議員	我妻武	平成23年3月25日		NPO法人理事長、社会福祉法人理事
評議員	花田貴博	平成23年3月25日		有限会社代表
評議員	徳永瑞穂	平成23年3月25日		NPO法人理事
評議員	渡辺あや子	平成23年8月24日		NPO法人会長

（評議員は平成26年3月31日現在）

5 理事会の開催状況

回数	開催月日	出席者数	議 題 等
第1回	平成25年5月24日 (金)	理事 6名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> ①平成24年度事務・会計監事監査報告 ②平成24年度事業報告・決算報告 ③第三者委員の選任 ④施設・設備整備等積立金規程の制定⇒取り下げ ⑤個人情報保護規程の制定 ⑥管理規則の一部変更 ⑦運営規程の一部変更 <p>※④以外全て原案どおり承認、可決</p>
第2回	平成25年10月30日 (水)	理事 5名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ①欠員理事の選任報告 ②第1四半期監事監査報告 ③札幌市の指導監査結果報告 ④平成25年度上期事業報告 ⑤馬主社会福祉財団施設整備助成金の決定報告 ⑥平成25年度補正予算(第1号) ⑦福祉車両の購入決定 ⑧慶弔規程の制定 ⑨旅費規程の一部変更 <p>※⑧は一部修正し可決、その他は原案どおり承認、可決</p>
第3回	平成26年1月28日 (火)	理事 4名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> ①第2四半期監事監査報告 ②福祉車両入札結果報告 ③欠員評議員の選任 ④経理規程の一部変更及び細則の制定 ⑤就業規則及び給与規程の一部変更 ⑥準職員就業規則及び給与規程の一部変更 ⑦非常勤職員就業規則の一部変更 <p>※全て原案どおり承認、可決</p>
第4回	平成26年3月26日 (水)	理事 4名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ①第3四半期監事監査報告 ②福祉車両入納入報告 ③準職員就業規則の一部変更 ④慶弔規程の一部変更 ⑤経理規程細則の一部変更 ⑥運営規程の一部変更 ⑦平成26年度事業計画・予算(案) <p><協議>中期経営計画について</p> <p>※全て原案どおり承認、可決</p>

6 評議員会の開催状況

回数	開催月日	出席者数	議 題 等
第1回	平成25年5月24日 (金)	評議員11名 監 事 1名	<ul style="list-style-type: none"> ①平成24年度事務・会計監事監査報告 ②平成24年度事業報告・決算報告 ③第三者委員の選任 ④施設・設備整備等積立金規程の制定⇒取り下げ ⑤個人情報保護規程の制定 ⑥管理規則の一部変更 ⑦運営規程の一部変更 <p>※④以外全て提案どおり承認、同意を得る</p>
第2回	平成25年10月30日 (水)	評議員 8名 監 事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ①第1四半期監事監査報告 ②札幌市の指導監査結果報告 ③平成25年度上期事業報告 ④馬主社会福祉財団施設整備助成金の決定報告 ⑤欠員理事の選任 ⑥平成25年度補正予算(第1号) ⑦福祉車両の購入決定 ⑧慶弔規程の制定 ⑨旅費規程の一部変更 <p>※⑧は一部修正意見を付して同意、その他は提案どおり承認、同意</p>
第3回	平成26年1月28日 (火)	評議員 8名 監 事 1名	<ul style="list-style-type: none"> ①第2四半期監事監査報告 ②福祉車両入札結果報告 ③経理規程の一部変更及び細則の制定 ④就業規則及び給与規程の一部変更 ⑤準職員就業規則及び給与規程の一部変更 ⑥非常勤職員就業規則の一部変更 <p>※全て提案どおり承認、同意</p> <p><協議>中期経営計画について</p>
第4回	平成26年3月26日 (水)	評議員 8名 監 事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ①欠員評議員の選任報告 ②第3四半期監事監査報告 ③福祉車両入納入報告 ④準職員就業規則の一部変更 ⑤慶弔規程の一部変更 ⑥経理規程細則の一部変更 ⑦運営規程の一部変更 ⑧平成26年度事業計画・予算(案) <p><協議>中期経営計画について</p> <p>※全て承認、同意</p>

7 監事監査の状況

回数	開催月日	監査内容	意見
第1回 (決算 監査)	平成25年5月9日 (木)	・法人一般事務監査（小野監事） ①理事の業務執行状況 ②財産管理状況 ③法人及び施設の業務執行状況 ④施設の運営状況	・①～③、適正である ・④、概ね適正である (指摘事項)：統括消防 計画の変更及び届出
	平成25年5月8日 (水) 及び5月20日(月)	・会計事務監査（細川監事） ①法人及び施設の会計状況	・概ね適正 (指摘事項)：(1)慶弔 規程の整備、(2)臨時 ボランティア等の保 険対応確認
第2回 (第1・ 四半期)	平成25年8月20日 (火)	・法人一般事務監査（小野監事） ①理事の業務執行状況 ②財産管理状況 ③法人及び施設の業務執行状況 ④施設の運営状況	・①～③、適正である ・④、概ね適正である (指摘事項)：統括消防 計画の変更及び届出
	平成25年8月21日 (水)	・会計事務監査（細川監事） ①法人及び施設の会計状況	・概ね適正 (指摘事項)：慶弔規 程が未整備
第3回 (札幌市 法人指導 監査)	平成25年9月9日 (月)	<事前監事監査>～細川監事 ①H24年度法人運営状況監査 ②諸帳簿(人事・経理・庶務)等監査	・概ね適正 (欠席が継続している 理事・評議員がいる)
	平成25年9月12日 (木)	<法人指導監査立会>～細川監事	・全体として良好 (理事・評議員の欠席 対応、人事等諸帳簿が 一部不備・未整備)
第4回 (第2・ 四半期)	平成26年1月21日 (火)	・法人一般事務監査（小野監事） ①理事の業務執行状況 ②財産管理状況 ③法人及び施設の業務執行状況 ④施設の運営状況	・①～③、適正である ・④、概ね適正である (指摘事項)：統括消防 計画の変更及び届出
	平成26年1月16日 (木)	・会計事務監査（細川監事） ①法人及び施設の会計状況	・概ね適正 (指摘事項)：備品購 入時の請書等が一部 未整備
第5回 (第3・ 四半期)	平成26年3月18日 (火)	・法人一般事務監査（小野監事） ①理事の業務執行状況 ②財産管理状況 ③法人及び施設の業務執行状況 ④施設の運営状況	・①～③、適正である ・④、概ね適正である (指摘事項)：統括消防 計画の変更及び届出
	平成26年3月18日 (火)	・会計事務監査（細川監事） ①法人及び施設の会計状況	・概ね適正 (指摘事項)：特になし

8 第三者委員の状況（定数：2名）改選：平成25年3月24日（任期：平成27年3月24日まで）

苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や状況に配慮した適切な対応を図るために設置。なお、今年度第三者委員が対応した苦情処理案件は0件。

（1）第三者委員

氏名	就任年月日	区分	備考
小野 雅美	平成23年3月25日	重任	社会福祉法人職員、当法人監事
中村 康子	平成24年10月31日	重任	大学非常勤講師、

（第三者委員は平成26年3月31日現在）

（2）委員会の開催

第1回委員会【平成25年11月15日（金）】委員2名出席、理事長、施設長、事務局長
案件

- ①平成25年度上期事業報告について
- ②平成25年度苦情解決システム研修会について
- ③その他

（上期の苦情処理事例を基に意見交換）

- ・保護者の気持に不安定な面がある、家事援助利用者との対応事例
- ・当法人ヘルパーの業務に対する苦情があり、双方から状況を確認するため保護者とも面談を持ち、当面様子を注視することとした。その後は良好な関係となっている。
- ・このような状況の方だからこそ、支援が必要である。
- ・再発が心配されるとともに、職員のケアも大切。
- ・支援する側から歩み寄ること。
- ・苦情対応時のメモは、「ことば」で記録するより「図式化」すると分かりやすい。

平成25年度苦情解決システム研修会【平成25年11月22日（金）】委員2名、職員1名参加
（会場：かでの2・7 4階大会議室ほか）

- ◎研修内容
- ①北海道福祉サービス運営適正化委員会事業報告
 - ②「難しい苦情申出人とその対応」についての基調講演
 - ③『事業者の苦情解決における弁護士の位置と役割』の講演
 - ④「事業所における難しい苦情申出人の状況と対応の実態」について討議
 - ⑤討議報告と講評

9 運営会議の開催

月1回を原則として運営会議を開催。事業報告、日程調整並びに月次の決算状況を基に、経営及び運営状況の点検を行うとともに、事業施行上の課題等を把握・検討し、法人経営の改善と事業運営の円滑化を図るために実施。

また本年度は、中期経営計画の原案策定及び新たな生活介護事業所開設に向けた協議・検討を行っている。

開催月日	出席者	協議事項等
平成25年5月23日(木)	理事長 施設長 事務局長	①平成24年度事業報告、決算報告 ②第1回理事会・評議員会議案 ③職員採用(生活支援員) ④準財育成支援事業(労働局)の活用 ⑤有償運送事業の更新 ⑥当面する日程、諸課題の調整
平成25年6月26日(水)	理事長 施設長 事務局長	①翔の対応検討 ②4月の月次決算状況 ③当面する日程、諸課題の調整
平成25年7月17日(水)	理事長 施設長 事務局長	①平成25年度職場研修の検討 ②当面する日程、諸課題の調整
平成25年7月23日(火)	理事長 施設長 事務局長	①翔の生活介護以降に向けた検討(運営・場所) ②中期経営計画及び生活介護事業開設の検討(新設・分場) ③ホームページ開設に向けた運営の検討 ④5月の月次決算状況 ⑤当面する日程、諸課題の調整
平成25年8月5日(月)	理事長 施設長 事務局長	①看護師、新卒者の採用方針 ②中期経営計画の検討 ③新規生活介護事業所候補物件の検討 ④6月の月次決算状況 ⑤当面する日程、諸課題の調整
平成25年8月30日(金)	理事長 施設長 事務局長	①中期経営計画の検討 ②新規生活介護事業所候補物件の検討 ③7月の月次決算状況 ④当面する日程、諸課題の調整
平成25年10月3日(木)	理事長 施設長 事務局長	①今後の職員体制について(看護師、送迎体制) ②中期経営計画の検討 ③新規生活介護事業所候補物件の検討 ④ホームページ開設に向けた作業調整 ⑤8月の月次決算状況 ⑥当面する日程、諸課題の調整

平成25年10月31日(木)	理事長 施設長 事務局長	①今後の送迎・運行管理職員体制の検討 ②中期経営計画の検討 ③新規生活介護事業所候補物件の検討 ③9月の月次決算状況 ④当面する日程、諸課題の調整
平成25年12月3日(火)	理事長 施設長 事務局長	①看護師配置体制の検討 ②10月の月次決算状況及び今後の決算見通しについて ③新規生活介護事業所候補物件の検討 ③新年度事業の見込及び予算方針の検討 ④当面する日程、諸課題の調整
平成26年1月9日(木)	理事長 施設長 事務局長	①看護師配置体制の検討 ②中期経営計画の検討(事業計画、職員体制) ③新規生活介護事業所候補物件の検討 ③第3回理事会・評議員会への提案議件の検討 ④11月の月次決算状況 ⑤当面する日程、諸課題の調整
平成26年2月3日(月)	理事長 施設長 事務局長	①看護師配置体制の検討 ②新規生活介護事業所候補物件の検討 ③職員の処遇改善の検討(昇給、時給単価、退職金等) ④12月の月次決算状況 ⑤当面する日程、諸課題の調整
平成26年2月20日(木)	理事長 施設長 事務局長	①第4回理事会・評議員会への提案議件の検討 ②新年度事業計画、予算の検討 ③新規生活介護事業所候補物件の検討 ④当面する日程、諸課題の調整
平成26年3月25日(火)	理事長 施設長 事務局長	①第4回理事会・評議員会議案の検討 ②新規生活介護事業所候補物件の検討 ③インフルエンザ流行に対する対応策 ④1月の月次決算状況 ⑤当面する日程、諸課題の調整

10 リーダー会議、スタッフ会議の開催

(1) リーダー会議

施設長と各所属のリーダーを中心に、状況に応じて看護職、送迎担当、事務局も加わって、毎月第3木曜日に開催。

各所属の状況、及びスタッフ会議に向けた案件の確認を行うとともに、サービス提供時の課題や事故再発防止対策の検討、利用者の処遇及び事業所の運営上重要な事項の連絡を行うことで、所属間の連携と情報の共有化を図っている。

(2) スタッフ会議

各事業所所属の全職員を対象に、状況に応じて事務局も加わり、毎月第4月曜日に開催。

行事、連絡事項の伝達のほか、利用者の処遇や行事・送迎・入浴などサービス提供に関する課題の検討を行うとともに、職員の勤務体制並びに事業所内の衛生保持に関することなどについて検討している。また、外部研修の報告、及びヒヤリハット内容の報告による事例等の共有で、技術の向上や事故予防意識を醸成し、再発防止に向けた改善策について話し合いを行うことで、各利用者の現状と活動上の課題等を把握し、職員間での現状認識の統一及び知識、技術の共有化を図っている。

11 職員の配置状況

※()は外教で兼務職員

所 属	職 種	H24年度 3月末日	H25年度 4月1日	増	減	H25年度 3月末日	備 考
本部事務局 (事務局長含む)	正職員	1	1	0	0	1	
	準職員	2	2	1	1	2	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	
	計	3	3	1	1	3	
生活介護事業 O・H・G(おはぎ) (施設長含む)	正職員	5	3	1	0	4	
	準職員	(2)1	(1)2	2	2	(1)2	
	非常勤職員	15	(1)18	10	7	(1)21	
	計	(2)21	(2)23	(2)10	9	(2)27	
居宅介護事業 (重度訪問介護) DAI-ふく	正職員	(3)1	(1)2	0	0	(1)2	
	準職員	(1)0	(1)0	(3)0	(1)0	(3)0	
	非常勤職員	(3)0	(4)0	0	(3)0	(1)0	
	計	(7)1	(6)2	(3)0	(4)	(5)2	
小規模作業所 ふれあいセンター 823	正職員	1	0	0	0	0	H25年度よ りO・H・Gへ 移行
	準職員	1	0	0	0	0	
	非常勤職員	(3)5	0	0	0	0	
	計	(3)7	0	0	0	0	
小規模作業所 ふれあいセンター 翔	正職員	0	1	0	0	1	
	準職員	0	0	0	0	0	
	非常勤職員	(1)2	2	(1)0	0	(1)2	
	計	(1)2	3	(1)0	0	(1)3	
法人全体	正職員	(3)8	(1)7	1	0	(1)8	
	準職員	(3)4	(2)4	(3)3	(1)3	(4)4	
	非常勤職員	(7)22	(5)20	(1)10	(3)7	(3)23	
	合 計	(13)34	(8)31	(4)14	(4)10	(8)35	

※平成25年3月31日付け退職者：正職員1名(DAI-ふく)、非常勤職員3名(O・H・G)～契約期間満了

※平成26年4月 1日付け採用者：非常勤職員1名(O・H・G)

※平成26年3月31日付け退職者：非常勤職員1名(O・H・G)～契約期間満了

12 職員研修の状況

【内部研修】

研修名	開催月日	開催場所	講師	参加数
職員の接遇、自発的な行動を促すことを目的とした内部研修 「利用者の皆様がより快適にご利用できるようにするために自分がこれからできること」	・職員ヒアリング 7月8日、10日、12日の3日間 ・セミナー ①7月30日(火) ②8月31日(土)	O・H・G (おはぎ)	キャリアコンサルタント 中村 智美	ヒアリング 31名 セミナー ①24名 ②20名
安全運転診断アドバイス (アンケートの回答を基に安全運転の診断を行い、結果とアドバイスを返す)	アンケート 7月23・24日 結果配布 8月23・24日	O・H・G (おはぎ)	株式会社 インターリスク総研 (あいおいニッセイ同和損害保険)	送迎従事者、管理者 16名
「ヒヤリハットと事故のとらえ方について」	2月22日(土)	O・H・G (おはぎ)	施設長 菊地 ひとみ	17名

【外部研修】

研修名	開催月日	開催場所	主催・講師等	参加数
障がい福祉施策意見交換会	4月10日(水)	札幌サンプラザ	元厚生労働副大臣 木村 よしお氏	1名
高次脳機能障害事例検討会(第1回)	6月10日(月)	北大学術交流会館	北大リハビリテーション部	1名
医療的ケア学びのセミナー	6月16日(日)	難病センター	医療的ケア・学びのセミナー実行委員会	1名
重症心身障がい児の地域生活について	6月25日(火)	豊平区民センター	地域自立支援協議会豊平区地域部会	1名
平成25年度 算定基礎届事務講習会	6月26日(水)	札幌市民ホール	札幌各年金事務所	1名
事例から学ぶクレーム対応力強化実践講座	7月5日(金)	札幌千代田ビル	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	1名
社会福祉法人経営者セミナー	7月12日(金)	ホテル札幌ガーデンパレス	北海道社会福祉協議会	1名
社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会	8月19日(月)	TKP ガーデンシティ札幌	北海道社会福祉協議会	1名
個別支援計画事業者研修会	8月22日(木) 8月29日(木)	身体障害者福祉センター	NPO 法人北海道地域ケアマネジメントネットワーク	2名
人事管理研修	10月9日(水)	札幌共済サロン	北海道社会福祉協議会	1名

事例から学ぶ管理者の事故対応講座	10月22日(火)	札幌千代田ビル	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	1名
年金委員研修会	11月7日(木)	札幌ガーデンパレス	札幌西年金事務所	1名
札幌市障害者虐待防止を考える講演会	11月12日(火)	札幌市社会福祉総合センター	札幌市 札幌市社会福祉協議会	2名
障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく集団指導	11月14日(木)	札幌市民ホール	札幌市障がい福祉課	2名
苦情解決システム研修会	11月22日(金)	かでの2・7	北海道福祉サービス運営適正化委員会	3名
個別支援計画事業者研修会(応用研修)	11月29日(金)	札幌市身体障害者福祉センター	札幌市	1名
重症心身障害看護師看護研究発表会	11月30日(土)	札幌あゆみの園	日本重症心身障害福祉協会	1名
これからの福祉、これからの教育	12月8日(日)	拓北・あいの里地区センター	拓北・あいの里ノーマライゼーション研究会	2名
北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修	12月12日(木) 13日(金)	札幌医科大学 札幌市社会福祉総合センター	北海道、札幌市	1名
改正高年齢者雇用安定法に基づく「65歳雇用」導入説明会	1月17日(金)	札幌国際ビル	北海道労働局 ハローワーク	1名
洪水時の避難に関する説明会	1月21日(火)	札幌市庁舎	札幌開発建設部 札幌市危機管理対策室	1名
事例から学ぶ管理者の事故対応講座	1月22日(水)	札幌千代田ビル	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	1名
新社会福祉法人会計基準に係る研修会	1月24日(金)	札幌グランドホテル	札幌市監査指導課 日本公認会計士協会北海道会	1名
発達障害のある方への支援方法について	2月19日(水)	WEST19	地域自立支援協議会 中央区地域部会	3名
障がい者権利条約を道民の生活に活かすために	3月8日(土)	ちえりあ	日本障害フォーラムJDF	1名

【個別面談】

実施期間	対象職員
4月2日～5月31日	全職員
10月15日～2月21日	全職員
3月31日	男性生活支援職員(3名)

【新人研修】

実施期間	対象職員
10月23日～11月27日	2名（林、相山）
12月9日～1月25日	2名（江淵、小室）

※内部研修、外部研修参加後には、報告書を提出しスタッフ会議などで内容を報告。

※個別面談は、原則理事長と施設長による。（3月31日は事務局長も参加）

※新人研修は、該当職員の個別面談時に実施。内容は、当法人の運営方針の理解、職員としての倫理、接遇などについて。

【資格取得研修】

研修名	開催月日	開催場所	講義内容等	参加数
移送サービス運転協力者講習	4月20日(土) 21日(日)	新川会館	北海道移送・移動サービス連絡会	3名
介護職員実務者研修	7月1日 ～12月31日	日本福祉アカデミー大通校	通信学習（3カ月） スクーリング（10日間）	2名
同行援護・ガイドヘルパー講座	8月4・10・11日、 9月28・29日	日本福祉アカデミー麻生校	スクーリング（5日間）	1名
介護技術講習	10月8日 ～10月29日	三幸学園 札幌大通会場	スクーリング（4日間）	1名
介護職員実務者研修	12月27日 ～3月31日	日本福祉アカデミー大通校	通信学習（1カ月） スクーリング（10日間）	1名
同行援護・ガイドヘルパー講座	11月10・16・17日、 11月23・24日	日本福祉アカデミー麻生校	スクーリング（5日間）	1名

※「介護職員実務者研修」、「同行援護・ガイドヘルパー講座」のうち準・非常勤職員（有期契約職員）は、労働局の助成事業（キャリアアップ助成金）を活用。

13 監査、運営指導等

（1）札幌市による社会福祉法人の指導監査

- ・ 監査実施日：平成25年9月12日(木)
- ・ 監査担当者：札幌市保健福祉局 監査指導課(2名)、障がい者福祉課(1名)
- ・ 当方対応者：理事長、施設長、事務局長、居宅介護事業主任、本部事務員
立会者 細川監事
- ・ 対象事業等：平成24年度事業

※法人認可、資産、登記、規程、人事、経理、決算、監事、庶務関係の調書、平成25年度予算及び事業計画、給与台帳、生活介護事業0・H・G(おはぎ)及び居宅介護事業ヘルパーステーションDAI-ふくの運営状況、利用者説明及び

契約、サービス提供内容及び記録、請求及び利用者負担額、各種届出等

・監査結果等：①口頭指導～3件(理事会出席低調理事に対する改善、時間外命令の改善及び支給漏れの是正) ⇒ 下記のとおり改善状況を報告

②現地指導～3件(寄附物品の取扱いの是正、時間外・休日労働に関する協定の順守、出張旅費の支給誤りの是正)

◎『指導監査に係る指導事項改善報告書』（口頭指導事項3件）：平成26年1月31日付で報告

口 頭 指 導 事 項	改善状況又は今後の方針
1. 理事会への出席が低調な理事がいるので、開催日時を調整するなどして改善を図ること、また、他の適任者への選任についても併せて検討すること。	開催日時を決定する際に実施している日程の事前把握について、調査対象期間を長期に設定し、出席に向けた調整を図る。 なお、業務等により理事会への出席が困難な状況が続く場合には、適任者への選任も検討する。
2. 一部職員について、時間外勤務手当の支給漏れがあるので、精査のうえ是正すること。	外部研修における時間外勤務分の支給漏れが2名あったので、本年中に対象の時間外勤務手当分を支給することとする。今後、職場外の勤務時間の把握については、外勤等の報告書と出勤簿、時間外命令簿とを照合確認を行うこととする。
3. 時間外勤務を命ずる場合は、口頭ではなく時間外勤務命令簿により行うこと。	事務員の時間外命令簿が未整備であったので、今後、他の職員と同様に時間外命令簿を整備し、命令を行うこととする。

14 職員の事故等の状況

(1) 業務中の事故等

①事業所内 2件(転倒1件、利用者の動作1件)

負傷等の状況は、打撲1件、眼鏡破損1件となっている。

②送迎従事中 1件(運転手の事故で、同乗者に対しての事故は0件)

負傷等の状況は、創傷1件となっている。

③交通事故違反 8件(うち事故 6件、違反 2件)

事故内訳は、自損事故5件(支柱、電柱、壁、雪山等で相手に対する損害賠償はない)、タイヤのバースト1件

※事故に伴う修理費用総額は、1,073,065円となり、うち自動車保険を適用した事故は1件、修繕費149,900円(うち保険金99,900円)となっている。

違反内容は、信号無視1件、携帯電話使用等1件

(2) 感染症等による体調不良

①職員 7件(うちインフルエンザ 4件、その他 3件)

感染症の場合は、就業規則に基づく就業禁止としている。

その他の症状は、病原性大腸菌O群の疑い(陰性)、心因性疾患、勤務外での骨折となっている。

②家族等 3件(うちインフルエンザ 3件、その他 0件)

感染症の場合は、就業規則に基づく就業禁止としている。

15 各事業運営の状況

1. 支援方針及びサービス内容に関して

(1) 個別支援計画の作成

毎日の記録の作成及び支援会議内における個々利用者の検討の積み重ねにより、利用者及び家族のニーズに沿った支援を行うことが出来るよう、計画の作成に努めている。

(2) 食事サービスの提供

給食は、前年度と同様に週3回（月、水、木）実施している。

給食が提供されない火・金曜日は、お弁当屋さんからの購入や、散歩を兼ねて近くの店へ買い物に行く等の対応を行っている。

弁当の購入は、利用者にとっても非常に楽しみな時間となっており、また、業者の方との会話やお金の受け渡しなど、社会との貴重な接点となっており、社会性を養う上で大切な体験となっていることから、今後もこの給食提供の体制を続けていく考えである。

(3) 入浴サービスの提供

入浴は、週5日（月～金曜日）実施している。

個人個人の希望に合わせた入浴介助を基本とし、利用者同士や職員とのコミュニケーションを楽しみながらゆったりと入浴できるように努めている。

また、感染症（白癬菌等）の対応が必要な利用者が増えてきたことから、利用時間の調整やタオルの管理など衛生面での対応に充分注意して実施している。

(4) 送迎サービスの提供

送迎に関しては、市内全域送迎を維持している。

利用者のほとんどが送迎を希望しているため、送迎車の増車とドライバーの確保が課題となっていたが、今年度、ドライバー3名の増員と車両を1台増車している。

しかし、保有している送迎車両の内3台が走行距離や使用年限などから更新時期を迎えていることから、今後も送迎車の整備が急務となっている。

また、ドライバーの資質の向上と職員間の連携を図るため、会議や研修を実施し、利用者との関係づくりや安全で安心して利用できる送迎サービスの提供に努めている。

(5) 健康管理及びバイタルチェック

看護師を中心に、毎日の健康管理を行っている。

投薬の管理については、職員間でのチェックを行うなど、誤薬の防止に努めている。

各業務のマニュアルを作成し、事業所内の衛生管理も行っている。

(6) 創作的活動及び生産活動（布製品等の小物類の製作）、余暇活動

生産活動に関しては、利用者の身体機能や嗜好に合わせて、縫い物だけではなく、誰でも参加できる内容の作業を取り入れている。

利用者の身体状況を見ながら作業量を調整するように配慮しているが、頑張りすぎてしまう

利用者もいるため、休憩が取れるよう職員からの声掛けや、違う作業に参加してもらうなど、気分転換が図られるように対応している。

日中活動の中で使用するゴミ袋丸め等の軽作業も、メニューに取り入れている。

午前と午後の活動内容も数種類に分け、利用者の希望や考えで活動に参加してもらうようにしてきており、作業のみではなく、利用者同士や職員との関わりを持つ時間も大切にしながら進めている。昼休みなどには、同じ趣味を持っている利用者が集まって会話を楽しむ様子も毎日のように見られている。

また、4月から同じ生活介護事業所となった旧ふれあいセンター823の利用者との交流も、今まで以上に行うようになり、特に午後の活動を共有する場面が多く見られている。

土曜のレクリエーションに関しては、内容をバラエティーに富んだものにし、外出する機会も多く作るなどしていることで、参加者が多くなっている。調理を伴うレクリエーションや外出するレクリエーションには、参加希望者が多い。

今年度は郊外散策ということで、送迎車を使って出かけるレクリエーションを5月から9月の間に4回企画し、アンケートで参加場所を決めるなど、利用者に関わりを持ちながら実施している。

また、2回外部の方をお招きしレクリエーションを行い、利用者にも好評だったので、今後も企画していく考えである。

(7) 身体機能及び日常生活能力の維持・向上のための支援

側弯や痙性の強さなど利用者の身体状況を考え、昼休みや午後の活動の中で、車いすから降りて横になる時間を作るようにしている。

また、午後の活動の前にラジオ体操を取り入れ、心身の緊張を和らげ、午後の活動への気持ちの切り替えを促すような対応を行っている。

なるべく現状の身体機能を維持していただくため、その日の利用者の体調を考慮しながら、自分でできることは時間をかけてでも行ってもらうよう心がけながら支援をしている。

(8) 社会参加の促進

地域で開催される音楽会などに積極的に参加し、地域の方との交流を深めている。

今年度は赤い羽根共同募金の街頭募金活動に参加、積極的に社会とのかかわりを進めている。

また、10月に行った「ふれあいフェスタ」では、日新小学校のバトン少年団に参加していただき、保護者など地域の方々が多数来場していただいたことで、当施設の活動に対する理解を深める良い機会となっている。

(9) 生活相談

利用者及び保護者の生活に関する相談に対しては、常に対応できるようにしている。

2. 利用者の状況（平成26年3月末現在）

◎生活介護事業所 O・H・G（おはぎ）

*生活介護事業所定員 20名

*生活介護事業所契約者数 50名（男性 24名、女性 26名）～前年度より9名増

10代	20代	30代	40代	50代	60代
7名 (男4・女3)	28名 (男15・女13)	7名 (男4・女3)	7名 (男1・女6)	0名	1名 (男0・女1)

*生活介護事業所契約者障害程度区分（平均障害程度区分5）～前年度区分4.7

区 分	2	3	4	5	6
人 数	0名	6名	5名	6名	33名

*生活介護事業所待機者数 13名（内8名は、現在通所中の方の通所回数増の希望）

◎地域共同作業所ふれあいセンター翔

*小規模作業所ふれあいセンター翔定員 10名

*小規模作業所ふれあいセンター翔契約者数 8名（男性 4名、女性 4名）

*小規模作業所契約者障害程度区分

区 分	2	3	4	5	6	未取得
翔	0名	0名	0名	0名	8名	0名

◎居宅介護事業所 DAI-ふく

*ヘルパーステーション DAI-ふく

居宅介護事業契約者数 13名～前年度より5名増

移動支援事業契約者数 17名～前年度より6名増

重度訪問介護契約者数 3名～前年度より2名増

3. 利用状況（平成26年3月末現在）

◎生活介護事業所 O・H・G（おはぎ）

*生活介護事業所月平均利用人数 45名

区 分	2	3	4	5	6	合 計
月平均利用人数	0名	6名	5名	6名	28名	45名
月平均利用総日数	0日	59日	80日	58日	213日	410日

*生活介護事業所平均開所日数 21日／月

*生活介護事業所開所日平均利用人数 19名／日～前年度より5名増

◎地域共同作業所ふれあいセンター翔

*小規模作業所利用人数 8名

作業所名	翔
月平均利用人数	8名
月平均利用総日数	53日

*小規模作業所平均開所日数 20日／月

*小規模作業所開所日平均利用人数 3名／日

◎居宅介護事業所 DAI-ふく

*ヘルパーステーション DAI-ふく

居宅介護事業平均利用回数 17回／月

移動支援事業平均利用回数 23回／月

重度訪問介護平均利用回数 1回／月

4. 平成 25 年度の活動

月	日	曜	活動内容	月	日	曜	活動内容
4 月	1	月	新利用者歓迎式 スタッフ打ち合わせ	5 月	7	火	イエローレシート商品贈呈式
	13	土	レクリエーション (どら焼き作り)		11	土	レクリエーション (母の日レク)
	18	木	第21回リーダー会議		23	木	第22回リーダー会議
	20	土	福祉有償重送講習3名受講		25	土	郊外散策 (月寒温泉)
	21	日	福祉有償重送講習3名受講		27	月	第26回スタッフ会議
	22	月	第25回スタッフ会議				
	28	土	レクリエーション (運動レク)				
	29	日	はちけん春のはあとフェスタ出店				
6 月	4	火	ダスキン清掃ボランティア受け入れ	7 月	1	月	吉田学園チャリティーコンペ出店
	8	土	レクリエーション (お買い物レク)		3	水	コカ・コーラファンデーご招待
	10	月	外部研修参加		5	金	外部研修参加
	16	日	ホップ出店		6	土	おやじの会バザー出店
	20	木	第23回リーダー会議		13	土	レクリエーション (まったりレク)
	22	土	全体レクリエーション (ミニ運動会)		19	金	避難訓練
	24	月	第27回スタッフ会議		20	土	トヨタハートフルフェア出店 ひまわり整備園夏祭り出店
	25	火	地域自立支援協議会豊平部会参加		21	日	トヨタハートフルフェア出店
					23	火	ドライバー会議
					25	木	第24回リーダー会議
			27	土	郊外散策 (コカ・コーラ工場見学)		
			29	月	第28回スタッフ会議		
			30	火	内部研修 (1回目)		
			31	水	拓北サマーフェスタ出店		
8 月	10	土	レクリエーション (お散歩レク)	9 月	7	土	楡の会秋まつり出店
	19	月	第25回リーダー会議		14	土	レクリエーション (ランチバイキング) 豊成ふれあいフェスタ出店
	22	木	外部研修参加		19	木	第26回リーダー会議
	24	土	郊外散策 (円山動物園) ユアホームサービス福祉祭り出店		21	土	びあとびあ秋祭り出店
	26	月	第29回スタッフ会議		27	金	第30回スタッフ会議
	29	木	外部研修参加		28	土	郊外散策 (新千歳空港)
	31	土	内部研修 (2回目)				みなくるフェスタ出店
10 月	1	火	赤い羽根街頭募金参加	11 月	9	土	レクリエーション (読み聞かせ、手遊び)
	5	土	トヨタハートフルフェア出店		11		北翔プラザ出店 拓養祭出店
	6	日	トヨタハートフルフェア出店				
	12	土	ふれあいフェスタ		21	木	第28回リーダー会議
	20	日	すし研出店		25	月	第32回スタッフ会議

	24	木	第27回リーダー会議				
	26	土	レクリエーション (ランチバイキング) 拓北学芸会出店				
	28	月	第31回スタッフ会議				
12 月	2	月	徳生寺コンサート参加	1 月	11	土	父母の会成人式
	6	金	真養高等部祭出店		17	金	さっされん新年交流会参加
	8	日	外部研修参加		22	水	外部研修会参加
	12	木	第29回リーダー会議 虐待防止研修会参加		23	木	第30回リーダー会議
	13	金	虐待防止研修会参加		25	土	レクリエーション (雪遊び) 避難訓練
	14	土	年末レクリエーション		27	月	第34回スタッフ会議
	16	月	第33回スタッフ会議				
2 月	8	土	レクリエーション (指笛)	3 月	8	土	レクリエーション (買い物)
	14	金	ドライバー会議		11	火	保護者会
	17	月	0・H・G (つぶあん) 意見交換会 0・H・G (こしあん)・翔意見交換会 (～21 日まで)		14	金	ドライバー会議
	19	水	イエローシート贈呈式 自立支援協議会中央部会参加		20	木	第32回リーダー会議
	20	木	第31回リーダー会議		22	土	インフルエンザの為閉所
	22	土	レクリエーション (ホテルランチ) 内部研修会		24	月	インフルエンザの為閉所
	24	月	第35回スタッフ会議		31	月	第36回スタッフ会議 次年度準備

※ この他にも、ケア会議、製品会議等を各事業所にて随時実施。また、外部でのケア会議にも積極的に参加。(現在5名の利用者に対応)

5. 実習、見学等の受け入れについて

今年度実習生の受け入れは、生活介護事業所において北翔養護学校高等部1年生を1名12月に1日受け入れた。

さらに、外部事業所職員1名の実習を、3月3日～5日まで受け入れた。

見学については、0・H・G (おはぎ)、ふれあいセンター翔において、外部事業所の職員や利用者の方、教員等の受け入れを行い、ボランティアの受け入れも行った。

6. 年間計画について

(1) 利用者意見交換会の実施について

利用者の意見により、当初年2回実施予定だったものを年度末の1回として実施した。

利用者からも好評だったため、次年度以降も年に1回の実施とする。

(2) 保護者会について

年度末に保護者会を実施していたが、確定した内容を伝えることが出来ない場合があるため、次年度より年度当初に実施し、法人の新年度の方針説明と重要事項説明の変更に関する説明を行うこととする。

(3) 広報誌の発行について

9月と3月に広報誌を発行することとなっていたが、法人のホームページの作成を優先したため、9月の発行は間に合わなかった。

7. ヒヤリハット件数

*ヒヤリハット総数 15件

*ヒヤリハット月別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
浴室・脱衣所													0
トイレ					1								1
活動室内		2			1		3	2	1	2	1		12
玄関・駐車場		1					1						2
合計	0	3	0	0	2	0	4	2	1	2	1	0	15

※ 施設内での転倒防止、送迎時の事故防止、入浴時・排せつ時の事故防止に努め、特に配慮を要する利用者への見守りや支援を、職員間で情報共有し、共通理解を再度図った。

また、毎月行うスタッフ会議で確認を行い、指導をしている。

8. 意見、要望、苦情、事故件数

◎意見・要望件数 0件

今年度は、意見・要望は寄せられていない。

◎苦情件数 0件

今年度は、苦情は寄せられていない。

◎事故件数 13件

*事故月別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
浴室・脱衣所					1								1
送迎車内										1		1	2
活動室内			1		1			1		3	2	1	9
玄関・駐車場									1				1
合計	0	0	1	0	2	0	0	1	1	4	2	2	13

※ 職員間で事故が発生した状況を確認し合い、注意の徹底を再度行い、危険個所の改善、活動の中での危険性のある場面の検証を行い、職員間で事故に至らないための対応を検討し、共通理解を図った。

また、事故報告書を各事業所で回覧し、必ず確認するようにし、毎月行うスタッフ会議でも確認を行い、指導を図っている。

9. 売り上げ及び工賃支払状況

*売り上げの状況と工賃の支払い状況

	売 上 げ 額	工賃支払額	残 額	材 料 費	残 額
4月	45,140	78,400	△33,260	11,771	△45,031
5月	49,895	83,800	△33,905	30,252	△64,157
6月	34,825	77,200	△42,375	19,660	△62,035
7月	223,122	86,000	137,122	72,058	65,064
8月	35,910	66,600	△30,690	31,179	△61,869
9月	72,840	70,400	2,440	14,600	△12,160
10月	182,298	82,600	99,698	73,006	26,692
11月	146,652	107,800	38,852	13,586	25,266
12月	64,905	73,000	△8,095	7,316	△15,411
1月	31,560	74,400	△42,840	77,973	△120,813
2月	27,022	71,800	△44,778	3,743	△48,521
3月	24,634	99,400	△74,766	27,985	△102,751
合 計	938,803	971,400	△32,597	383,129	△415,726
前年度	654,540	614,800	39,740	256,258	△216,518

※ 市内の養護学校や施設のイベントに参加しての販売活動や元気ショップでの委託販売を中心に販売活動を行った。

特に、7月は、吉田学園のチャリティーゴルフコンペ表彰式でのチャリティー販売による売り上げが、10月はふれあいフェスタでの売り上げが、11月には障害者の日記念事業用製品の委託での売り上げが大きかった。

生活介護事業の工賃については、作業意欲、通所意欲を高める狙いもあり、昨年度同様、一律1日200円の工賃を支給した。(レクレーション、行事の参加は除く)

地域共同作業所の工賃については、昨年度同様、利用者の1か月の通所日数が少ないため、毎月の工賃の支払ではなく、前期後期の2回に分けて支払いを行った。